

	問5 (質問) S040 成田先生	回 答
1	<p>今回の講習（説明的文章の教材研究）については、国語科のみならず、どの教科においても共通させられる事柄がありました。文章の構成においては、成績表の所見や授業における展開（板書や発問）など、生徒や保護者に伝えることのできる糧を養うことができました。今後も説明的文章における構成の在り方について、今講習で受講したことを学校教育の現場で生かしていきたいと思う。</p>	<p>ありがとうございます。お役に立てたのであれば幸いです。</p>
2	<p>前半のお話がとても示唆に富み、きちんと教材研究をして、本気で「批評的な読み」に向かわなければならないと実感しました。後半の演習はとても難しく、「説明的文章教材分析観点表」に照らしてもどれになるのかよくわからないものもありました（ジャンルは1～4以外どのように分類するのか、など）。そして、このように分析した結果、これらを授業にどのように生かしていくべきなのかが、まだつかめていません。これから授業の中で試行錯誤していきたいと思います。</p>	<p>教材研究の観点分析表では、話題・題材は他教科との関連に役立ち、その他の観点と意味構造のトーナメント図は読解指導をする際になにをどこまで読みとらせる授業にするかを決定するために欠かせないものだと思っております。授業実践の結果から必要な教材研究の内容が見えてくることもあると思います。教材研究と授業案・実施とを往還させるように心がけていただければ幸いです。</p>
3	<p>試験問題のトーナメント図の作成について、すべての階層に接続記号を記すということでしたが、「インスタント食品と私たちの生活」のトーナメント図の例に従って書くと、どの部分に接続記号を書けば良いか分かりませんでした。そのため、提出させていただくトーナメント図が、評価問題で問われていることに対して不十分な形の回答になっているかと思えます。申し訳ありません。</p>	<p>いいえ、こちらこそ例示自体が不備であったようですみませんでした。改善に生かしていきます。</p>

	問6（意見）S040 成田先生	回 答
1	<p>批評読みの手法にとっても興味がわいたため、それも詳しく教えていただきたいと思いました。今回の講習についての意見ということではありません。</p>	<p>ありがとうございます。研修会に呼んでいただいたり、なんらかの講演の機会があったりするならばお話ししたいと思います。</p>
2	<p>本日は説明的文章の教材研究を行う上で意識したいことや教材研究の方法などについて詳しく教えていただき、ありがとうございました。 コロナ禍なので仕方ないのですが、教材研究の検討をする際に、やはり他の先生方と意見交換ができれば…と感じました。 来年度以降は、是非対面式で受講できたらと思います。</p>	<p>同感です。子どもたちにとっても先生方にとっても他者との意見交換が非常に有効な活動になりますね。オンデマンドではなくZOOM等でリアルタイムの講習が可能であれば意見交換もできると思います。講習全体の運営方針によりますが。</p>
3	<p>特にありません。ありがとうございました。</p>	<p>ありがとうございました。</p>
4	<p>資料の画質が荒く、読み取りづらい部分が多くあった。</p>	<p>できるだけきれいなものを使っていますがご不自由をおかけしたようすみません。</p>